



思いを繋いで
第22回

出かけよう、ふるさとのやまへ。
あなたの身近な里山へ。

ひろしま「山の日」県民の集いの記録

2024年6月2日(日) 開催
(大竹市会場 6/16 開催、安芸太田町会場 10/13 開催)
ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会/中国新聞社

はじめに

広島は里山の邦と言ってもいいでしょう。 広島の里山は、里、川、まち、そして海ともつながり、多くの恵みをもたらし、命を育んでいます。

人と里山、人と山、里とまち、企業と地域、広島県内12の市町13会場を結んで、第22回ひろしま「山の日」県民の集いを開催いたしました。

これは、その記録です。

●第22回ひろしま「山の日」県民の集い 「山の日」宣言

広島県の面積のおよそ7割は山です。全国に誇る里山があります。山から湧き出る水は命の源であり、その水が里の稲や野菜を育てています。

山を被う緑の木や草は、新鮮な空気をつくりだしています。

広島の豊かな山で生まれた水は豊かな川となり瀬戸内海や日本海へ注ぎ、魚や貝を育んでいます。

私たちは、6月の第一日曜日をひろしま「山の日」とし

ひろしま「山の日」県民の集いを県内各地で開催し

山の大切さを訴えています。

ひろしまの里山から、山の大切さを理解し行動する人の輪を拡げ、

山がよくなる運動にしていくことを宣言します。

2024年6月2日

ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会

会長 前垣壽男

目 次

1	事業のアウトライン	3
2	各会場の記録	
①	東広島市会場:東広島市憩いの森公園.....	4
②	廿日市市会場:県立もみのき森林公園	7
③	広島市会場:ひろしま遊学の森(広島県緑化センター)	9
④	広島市会場:ひろしま遊学の森(広島市森林公園)	10
⑤	三原市会場:高坂自然休養村管理センター	12
⑥	福山市会場:ふくやまふれ愛ランド.....	13
⑦	三次市会場:としまの里・ほしはら山のがっこう	14
⑧	呉市会場:野呂山(野呂高原ロッジ周辺).....	16
⑨	世羅町会場:せら夢公園 せらワイナリー.....	18
⑩	神石高原町会場:神石高原ティアガルテン	21
⑪	坂町会場:ベイスайдビーチ坂.....	23
⑫	大竹市会場:マロンの里交流館(6/16 開催)	24
⑬	安芸太田町会場:深入山グリーンシャワー(10/13 開催)	25
3	実行委員	27
4	ひろしま「山の日」県民の集いの歩み.....	29

1. 事業のアウトライン

1 目 的	森林ボランティアや民間が中心となり展開してきた、ひろしま「山の日」県民の集いも 22 回目となる。目標の一つとしてきた、「山の日」が平成 28 年 8 月 11 日より国民の祝日になり実現した。SDG's に掲げられている 17 の目標の中で 14「海の豊かさを守ろう」、15「陸の豊かさを守ろう」の 2 つの目標については、私たちの活動そのものです。里山には、SDG's の身近な教材や資源が豊富であり、活動を通じて参加者一人一人にとって SDG's がより身近なものになる森づくり運動として、多くの県民が、この日に、身近な山へ入るきっかけをつくることを目的にする
2 日 時	2024 年 6 月 2 日(日) 集いの行事 (大竹市会場：6/16、安芸太田町会場：10/13)
3 場 所	広島県内 12 市町 13 会場 東広島市会場(東広島市憩いの森公園)、廿日市市会場(県立もみのき森林公園)、広島市会場(ひろしま遊学の森:広島県緑化センターと広島市森林公園)、福山市会場(ふくやまふれ愛ランド)、三次市会場(としみの里・ほしはら山のがっこう)、呉市会場(野呂山)、三原市(高坂自然休養村管理センター)、世羅町(せら夢公園せらワイナリー)、神石高原町会場(帝釈峡神龍湖)、坂町(ベイサイトビーチ坂)、大竹市会場(マロンの里交流館)6/16 開催、安芸太田町会場(深入山グリーンシャワー)10/13 開催
4 総参加者	4,366 人 (山の手入れ等参加者 314 人)
5 主 催	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社
6 特別協力	ひろしまの森林づくりフォーラム
7 後 援	林野庁近畿中国森林管理局、広島県、広島県教育委員会、東広島市、広島市、廿日市市、呉市、三原市、福山市、三次市、大竹市、安芸太田町、世羅町、神石高原町、坂町、(公社)広島県みどり推進機構、(一社)広島県森林協会、広島県森林組合連合会、(一社)広島県山岳・スポーツクライミング連盟、(公社)日本山岳会広島支部、(一財)全国「山の日」協議会、NHK 広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島
8 協 賛	西条・山と水の環境機構、(株)ウッドワン、中国木材(株)、マツダ(株)、広島県森林組合連合会、光和物産(株)、(株)タカキベーカリー、神沢精工(株)、クニヒロ(株)、山陽工業(株)、しまなみ信用金庫、東広島商工会議所、広島商工会議所、福山商工会議所、尾道商工会議所、広島市漁業協同組合、(株)広島バスセンター、みずえ緑地(株)、有斐園(株)、広島県環境保健協会
9 助 成	ひろしまの森づくり事業(交付金事業) 「緑の募金」助成事業

①東広島市会場 東広島市憩いの森公園

全体

■参加人数：170人

＜プログラム状況＞

東広島会場は、龍王山、憩いの森公園の多目的広場を会場として、第22回ひろしま「山の日」県民の集いの総合開会式を開催しました。

当日はご臨席いただいた来賓の皆様をはじめ、市内の小学生から構成される、東広島みどりの少年団の団員、東広島青年会議所のメンバーや、山のグランドワークに参加していただいた、市内に事業所を持つ企業の皆様、そして一般参加者などたくさんの方にご参加いただきました。

当会場は、「山に親しむ、山を楽しむ、山に学ぶ」のひろしま「山の日」のテーマを軸に、山のグランドワーク、山の日体験プログラム、ドローンによる森林調査の3つのプログラムで構成しました。

当市は市制施工50周年を迎えました。これからも、名水のふるさとである里山を守り、未来につながる森づくりの継承の大切さを次世代に伝える活動を継続していきます。

記録者：本永修一朗

(西条・山と水の環境機構事務局)



▲ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
山田雅昭副会長 開会の挨拶



▲開会挨拶 島 靖英 実行委員長



▲来賓挨拶 川崎耕作 広島県農林水産局林業振興担当部長



▲来賓挨拶 尾村直樹 東広島市産業部長



▲東広島みどりの少年団による「山の日宣言」



▲全員の安全を祈願して「どんぐりころころ」唱和！

山に親しむ活動 「山のグラウンドワーク」

■参加人数：61人

<プログラム状況>

西条・山と水の環境機構が年4回開催している里山整備、第104回 山のグラウンドワークを開催しました。地元酒蔵をはじめ、東広島市内に事業所を持つ企業のボランティアの皆様や一般参加の方々に山に入っていただき、除伐作業を行いました。

施業面積は約2,000㎡で、参加者の皆さんを3班に分け安全に施業を行いました。施業にあつては、作業指導を賀茂地方森林組合の皆様、安全・衛生確保を井口病院の看護師さんに行っていました。

記録者：本永修一朗

(西条・山と水の環境機構事務局)



▲除伐作業を行う様子

山を楽しむ活動 「山の日体験プログラム」

■参加人数：多数

<プログラム状況>

山の生き物や植生を学び、山を楽しむ山の日体験プログラムでは、東広島みどりの少年団の団員たちが各ブースを回り、学びや体験を行いました。地元大学の先生や各種団体の皆様にご協力いただき子供たちに山を楽しむことのおもしろさを教えていただきました。

記録者：本永修一朗

(西条・山と水の環境機構事務局)



▲半尾川の生きものの説明を聞く子どもたち



▲松ぼっくり工作の様子



▲虫さんバイバイスプレーづくりの様子



▲薪割体験の様子

【体験プログラム一覧】

・生き物展示・簡単な講義

担当団体：ひがしひろしまモバイルミュージアム & 半尾川再生まちづくり倶楽部

・山の散策

担当団体：呉・東広島シェアリングネイチャーの会

・虫さんバイバイスプレーづくり

担当団体：happinessmile Aroma with ひがしひろしま環境家族

・パネル展示・クイズ・松ぼっくり工作

担当団体：国立研究開発法人森林研究整備機構 森林整備センター 広島水源林整備事務所

・チップー展示・木のチップのにおい体験

担当団体：賀茂地方森林組合

・ペレットストーブの実演展示

担当団体：ペレットストーブ屋・ヤマノイ株式会社

山に学活動 「ドローンによる森林調査 飛行・調査データ展示」

■参加人数：多数

<プログラム状況>

本年の新たな取り組みとして、ドローンによる森林調査を行いました。西条・山と水の環境機構がこれまで 20 年にわたり 103 回除伐施業を行ってきたエリアを、事前にドローンで飛行し上空から LiDAR による点群データ撮影と、画像データの撮影を行いました。

当日は調査に使用した産業用ドローンの展示や、データの展示を行いました。ここで得たデータを未来への資産とできるよう今後地元大学と連携し、分析調査を行っていきます。

記録者：本永修一朗

(西条・山と水の環境機構事務局)



②廿日市市会場 県立もみのき森林公園

全体

■参加人数：500人

＜プログラム状況＞

晴天の下、「第22回ひろしま「山の日」県民の集い in はつかいち」が参加者5000名で開催しました。“安全な森を作ろう！”の合言葉で展開されたこの日のプログラムは、「森林整備」「薪割り体験と羽釜体験」「魚のつかみどり」のプログラムなどを実施しました。“安全な森を作ろう！”を合言葉の森の手入れは、大径木の伐倒等をおこなうので、安全のため参加者を2グループに分けて活動をしました。

●1グループは、山仕事の経験豊富な方達で、ナラ枯れの木（直径60cm以上）ツリークライミングで蔦を切った後で4本伐倒し集積しました。（12人）

●2グループは、森林ボランティアの経験者は、根がえりしている危険木（直径30cm以上）4本を伐倒し玉切りして集積しました。

指導力に定評のある森林ボランティアで、初心者には、ノコの使用方法やチェーンソーの使用方法や仕組みなどを習得してもらい指導者と共に見通しのきく森づくりを行いました。（17人）

また、今年度は廿日市サテライト会場として参加のあった大野自然観察の森では、「モリアオガエルの生態と爬虫類の観察会」では参加者が136名あり好評を得ました。この日、もみのき森林公園で行なわれた森林の多様性に関する体験活動は、次のとおりです。

- 木工体験 参加者12人
- 魚のつかみどり 参加者40人
- モリアオガエルの生態と爬虫類の観察会 参加者136人
- ツリークライミング体験会 参加者7人

記録者：梅田 斉

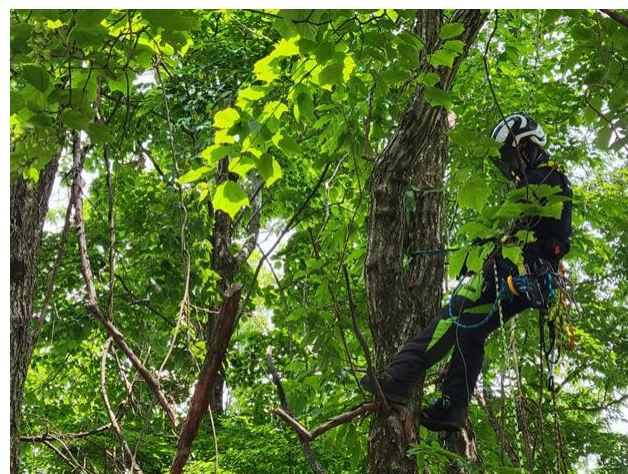


▲開会式の様子



▲ナラ枯れの木への伐倒の様子

▲森の手入れの様子



▲森の手入れの様子



▲森の手入れの様子



▲魚のつかみどりの様子



▲木工体験の様子



▲木工体験の様子



▲羽釜でご飯炊きの様子



▲公園センター「もみのき荘」

③広島市会場 ひろしま遊学の森（広島県緑化センター）

全体

■参加人数：1117人（入園者数約 632人）

レストハウス駐車場を会場に、午前10時、山根副委員長の挨拶で開会し、可部南グリーンズみどりの少年団による「山の日宣言」の後、3班に分かれて園内の森林整備・除伐活動に取り組みました。会場では「自由工作塾」、「森のネイチャーゲーム」の2つの参加型プログラムを実施しました。

記録者：神川 勇人（広島県緑化センター）



▲可部南グリーンズみどりの少年団による「山の日宣言」

森の手入れ

■参加人数：45人

＜プログラム状況＞

灌木類が多く茂っていた本園の樹木探勝園内の除伐を行い、作業後には見違えるように明るくなりました。 指導団体名 ふれあい湧

- ・可部南グリーンズみどりの少年団
(15人)、(保護者等24人)
- ・三井ボランティアネットワーク中国(4人)
- ・一般参加者(2人)

記録者：神川 勇人（広島県緑化センター）



▲森の手入れ作業の様子

自由工作塾

■参加人数：46人

＜プログラム状況＞

木片や小枝、松ぼっくり、どんぐりなど色々な自然素材を準備しました。参加者は、まず自分で自由に材料を選び、グルーガン・接着剤で取り付けたり、カラーペンで色付けしたり、自由な発想で自然素材を活用しての木エクラフトに熱心に取り組んでいました。

指導団体名 ふれあい湧

記録者：神川 勇人（広島県緑化センター）



▲自由工作塾の様子

森のネイチャーゲーム

■参加人数：13人

＜プログラム状況＞

木を輪切りした素材でのペンダント作りや、森の色探しゲームなど簡単な工作や自然を対象とした遊びを楽しんでいました。

指導団体名 広島市シェアリングネイチャーの会

記録者：神川 勇人（広島県緑化センター）



▲参加者の様子

④広島市会場 ひろしま遊学の森（広島市森林公園）

グリーンアドベンチャー

■参加人数：209人

＜プログラム状況＞

本コースは「管理ボランティア フォレストクラブ 森守」が中心となって14年前に整備されたもので、森林公園内をクイズラリー方式でトレッキングできる常設コースです。コース長2,150m、標高差150m、雑木林、人工林、モミジ植栽林、溪流園路、つり橋など変化に富む園内のコースに問題を18問設置しており、回答用紙を兼ねた探検地図は何度も再版を重ねるほどの当公園の人気定番イベントのひとつでもあります。

今回はコースの整備に加え、いくつかの問題を更新しており、SDGs に因んだものやネットで検索してもわからないものなど工夫して「山の日」に臨みました。

当日は天候にも恵まれ、参加者57組209人全員がゴールされました。参加者には、当公園オリジナルの記念品「押し花入りのしおり」を、さらに成績優秀者(ただし子ども限定)には、「昆虫缶バッジ」をプレゼントしました。



▲受付でゼッケンと地図を受け取り準備完了。



▲急な階段でもお子さんたちは元気です。



▲簡単？難しい？問題をみんなで相談中～



▲ゴールしたら答え合わせです。さて何点とれたかな？

森のネイチャーゲーム

■参加人数：34人

＜プログラム状況＞

心地よい初夏の風が吹く中、家族連れでの参加者は、子どもだけでなく大人も楽しんでいました。

【実施メニュー】

① 「はじめまして」

カードを使い、カードに書かれた質問の応答をしながら、自分の自然体験を振り返る活動をしました。参加者同士の自然体験を共有することで互いの心もほぐれる雰囲気づくりをしていきました。

② 「木の合う仲間」

自分の好きな木の特徴を話し合っ、同じ木が好きな人同士が集まって仲間になります。いろいろな角度から木を見つめていくことができました。

③ 「めざせ名探偵」

証拠品をもとに、1本の木の特徴をしっかりとらえ、その木を探しあてます。

指定した木の中で、木の特徴をしっかりとらえ、どんな木かを推理してあててることを通して、木にも個性があることに気づいてもらいました。

④ 参加記念「森のクラフト；カードスタンド」

指導者が用意した自然物の材料（落ち葉や木の枝、種子など）を台紙に思い思いに飾ったり、スタンプしたりしながら、オリジナルの作品を作成し、参加の記念に持ち帰ってもらいました。

記録者：表田啓太郎

（広島市シェアリングネイチャーの会）



▲「はじめまして」

アイスブレイクの意味もあって、初めて会う人に自分を紹介します。



▲「木の合う仲間」

同じ木を好きな人の仲間をつくります。



▲「めざせ名探偵」

さて、犯人はどの木か？



▲「森のクラフト(カードスタンド)」

自然の物でオリジナル作品づくり！

⑤三原市会場 高坂自然休養村管理センター

全体

■参加人数：１００人

＜プログラム状況＞

三原市会場は、２年前に「本郷中央森林公園」から、「高坂自然休養村管理センター」へ会場を移し開催しています。

高坂町では、『山の日県民の集い』とは別に、以前より、自然を満喫して頂く機会の一助として“新緑/佛通寺ノルディック・ウォーキング”を開催してきた背景がありました。そこに、『山の日県民の集い』三原市会場のお声かけにより、「本郷中央森林公園」で里山手入れの支援をされていたNPO法人団体(森のおさるさん・フォレストサポートクラブ・尾三地方森林組合)の皆さまのお力を借りて、三原市会場では、“ノルディック・ウォーキング”と“里山の手入れ体験・木工クラフト教室”の２つの企画を準備し行なうこととしました。

仏通寺会場への誘導ということで７時 30 分～交通誘導を行ない、８時 30 分～受付、９時～開会式。先ず主催者代表(西中実行委員長)の司会により『山の日県民の集い』の主旨説明(自然とのふれあい・山の大切さを県民に伝えること)を行ない、来賓では岡田三原市長に挨拶を頂きました。注意事項という点では“熱中症対策”についても触れました。“ノルディック・ウォーキング(約 5 kmコース)”は、講師を招聘し注意事項や準備体操を行ないスタート。佛通寺溪流に入るところからは、佛通寺住職の協力を頂き、“歴史散策”の丁寧な説明や短時間ながら“坐禅体験”も折り込んだ企画についても、参加者の皆さんに大変喜んで頂きました。

一方、“里山手入れ体験”にあたっては、前段階で下刈り作業も実施し、当日参加者を迎え体験を頂きました。その後引き続き、7家族参加による“木工クラフト教室”では、子供さんに喜ばれた企画で、大変良かったと思います。閉会式は、ノルディック(12:20)と里山手入れ体験(～11:50)の会場帰着に差異があるため、個別の閉会と致しました。前回参加されたりピーターの方の呼びかけや、三原市教育委員会の支援も頂き、昨年を上回る参加を得る中で、天候にも恵まれ怪我なく終了できたことを嬉しく思っております。

記録者:西中 弘(高坂自然休養村管理センター)

▲開会式の様子



▲山の手入れの様子



▲ノルディック・ウォーキングの様子



▲木工クラフト教室の様子



▲丸太切り体験の様子

⑥福山市会場 ふくやまふれ愛ランド

全体

■参加人数：15人

＜プログラム状況＞

第22回ひろしま「山の日」県民の集いを、6月2日(日)に福山市赤坂町にある【ふくやまふれ愛ランド】にて今年も開催致しました。今年の参加人数は昨年に比べて減りましたが、開会式を午前10時から行い、開会の挨拶に続いて「開会宣言」と「山の日宣言」を元気よく行いました。

開会式終了後、山のグランドワーク(里山の手入れ)を行うため、現地の山林へと進み、参加人数が少なかったため、例年に比べて多少時間が掛かりましたが、男性陣は力仕事を主に、女性陣は刈り取った草をまとめてと、作業分担をしながら無事に終えることができました。

今年の植樹は会場をお借りした【ふくやまふれ愛ランド】からの提案で、敷地内の花壇に柑橘系(ゆず・きんかん・レモン)をそれぞれ植えました。昨年植樹した桜の木は全てイノシシが荒らしてしまったそうで、イノシシを進入させない防護柵を設置してある場所での植樹となりました。イノシシの生活場所であった場所を壊したのは人間ですが、この場所があるからこそ自然の移り変わりを間近で見ることや体感することができます。自然界と人間界それぞれが共有して生活する難しさを学ぶことが出来ました。

記録者：繁田健司(光和物産株式会社)



▲ふくやまふれ愛ランド



▲植樹をしている様子



▲植樹をしている様子

⑦三次市会場 としみの里・ほしはら山のがっこう

全体

■参加人数：159人

＜プログラム状況＞

三次市では、吉舎町の「とみしの里」をメイン会場、上田町の「ほしはら山のがっこう」をサテライト会場として、「山の日」の行事を行いました。

メイン会場の「とみしの里」では、66名の参加者と33名のスタッフが参加しました。午前9時からの開会行事では、実行委員長のあいさつ、吉舎小学校の生徒による「山の日宣言」の後、全員で「森の手入れ」を行いました。その後、木のキーホルダーと木の香るストラップづくりを体験する「木工クラフト」、
「ネイチャーゲーム」に分かれて、森や木に親しむ「山の日」を過ごしました。また、今年度初めて、ウッドチップパー等森林整備機器の実演を行い好評でした。

記録者：竹常明仁(三次市 産業振興部 農政課)

としみの里メイン会場



▲開会式 「山の日」宣言



▲みんなで森の手入れの様子



▲みんなで森の手入れの様子



▲木工クラフト（キーホルダー作り）



▲薪割り機の実演



▲ウッドチップパー機の実演

三次市サテライト会場 ～ほしはら山のがっこう～

サテライト会場のほしはら山のがっこうでは、県内から親子連れの参加者51名とスタッフの9名が参加しました。午前10時からの開会式では、森づくりの目的を共有するため、里山の多面的機能とこれからの利活用について、スタッフが説明した後、全員で森の手入れを行いました。

その後、小枝や森の素材で森の生きものをつくる「森のクラフト」、「草花万華鏡づくり」を取り入れた「森のネイチャーゲーム」、「焚火でおやつづくり」など、午後3時の閉会式まで、五感を通して山の日を楽しく過ごしました。

当日は、晴天に恵まれ、各会場とも、子どもたちでいっぱいとなり、順番待ちになるなど、短い時間でしたが、思い思いに楽しみ、有意義な「山の日」になりました。

記録者:竹常明仁(三次市 産業振興部 農政課)



▲開会式



▲森の整備(まつぼっくりひろば～ムササビの森)



▲倒木や間伐材の処理(薪・クラフトなどに使用)



▲背負子で運ぶ様子



▲森のクラフト(ひろしま森のおもちゃ協会)



▲集合写真

⑧呉市会場 野呂山(野呂高原ロッジ周辺)

全体

■参加人数：171人

＜プログラム状況＞

各種イベントも爽やかな天候の下、滞りなく実施され、多くの方に山に関心をもってもらえる事が出来ました。

記録者：川本直人(中国木材株式会社)

山のグラウンドワーク (森林整備)

■参加人数：60人

＜プログラム状況＞

野呂高原ロッジ近くの森林の整備（雑木や竹の除伐等）を行いました。現地到着後、作業の目的、ノコギリの使用方法、安全装備の確認など安全管理を行い、作業を開始しました。伐採班、チップ班に役割分担して、伐採班がノコギリで伐採したものをチップ班がチップパーの設置場所まで人力で運ぶことで伐採木を細かく碎き森に還しました。この活動により、ヒノキ林は健全な状態に保たれました。

記録者：川本直人(中国木材株式会社)



▲山のグラウンドワーク（森林整備）の様子

桧の丸太きり 森のネイチャーゲーム

■参加人数：97人

＜プログラム状況＞

桧の丸太きりでは間伐した桧の丸太を鋸で切り、鋸の使い方を学びました。

丸太を鋸で綺麗に切れたときは達成感を味わっているようでした。また、切った桧の輪切りは、焼き印を入れて山の日の記念品にしました。

森のネイチャーゲームでは葉や木に触れたり、匂いをかいだり、風の音に耳をすませたり五感で自然を感じるゲームを行いました。どちらのプログラムも満足のいく体験が出来たと思います。

記録者：川本直人(中国木材株式会社)



▲桧の丸太切りの様子



▲記念に桧の輪切りに焼印を入れてる様子

▲全体集合写真

ハイキング (大重岩)

■参加人数：14人

＜プログラム

状況＞

野呂山を代表する奇岩「大重岩」までのハイキングを行いました。

ハイキングコースは長すぎず短すぎないコースで丁度良い適度な運動になりました。

「大重岩」は奇岩と呼ばれるだけあり、不思議な形をした岩に参加者は興味を持ち、大重岩に触れたり、記念写真を撮って楽しんでいました。

記録者：川本直人(中国木材株式会社)



▲ネイチャーゲーム 安全祈願



▲ハイキング集合写真



全体

■参加人数：300人

＜プログラム状況＞

第22回ひろしま「山の日」県民の集い世羅町会場をせら夢公園で開催しました。1日に開催した前日イベント「丸太で遊ぼう」では、子供たちが木を切って、キーホルダーを作成する体験を行いました。2日のイベント当日では、開会式にて山口勝博実行委員長による開会挨拶、奥田正和町長、米重典子議長による来賓祝辞があり、実行委員会の宮本幸三さんによる山の日宣言が行われ、行事を開始しました。当日は、親子連れを中心に約300人の方々にご来場いただき、体験活動に参加しました。世羅町会場では、「山の日木工体験」「しいたけ菌打ち体験」「薪ストーブ体験」「薪づくり体験」「丸太であそぼう」「里山の自然を観察しよう」「ネイチャーゲーム」「山の日マルシェ」「脱温暖化プロジェクトせら」の9つのプログラムにて森林・林業体験プログラムを行いました。晴天のもと開催され、子どもから大人まで幅広い世代の方々に山に親しんでいただくことができました。

記録者：杉原千鈴（世羅町産業振興課）



▲山口勝博実行委員長 開会挨拶



▲奥田正和町長 祝辞



▲米重典子議長 祝辞



▲宮本幸三実行委員 山の日宣言

丸太で遊ぼう(前日)

■参加人数：13人

＜プログラム状況＞[開催日：6月1日(土)]

当日イベントで行う予定だったプログラムを一部、前日イベントで行いました。ひろしま森づくり安全技術技能推進協議会から講師を招き、ロープを使った丸太の集材や、キーホルダーづくりをしました。特に、木を使ったキーホルダーづくりでは、子どもたちが、思い思いのデコレーションをして、キーホルダーづくりを楽しんでいました。

記録者：杉原千鈴（世羅町産業振興課）



▲キーホルダーづくりの様子

山の日木工体験

■参加人数：73人

＜プログラム状況＞

広島県産材を使用したマガジンラックの木工体験を行いました。マガジンラックの完成後は、好きなイラストを描くなどして、オリジナルの作品を作成し、とても満足していただきました。また、木製品の良さを皆さんに知っていただく良い機会となりました。

記録者：杉原千鈴（世羅町産業振興課）



▲マガジンラックを制作している様子

しいたけ菌打ち体験

■参加人数：64人

＜プログラム状況＞

しいたけ原木を利用して、しいたけドリルによる穴あけ、菌打ち体験を行いました。参加者の中には初めて菌打ちに挑戦される方もいらっしゃいました。

記録者：杉原千鈴（世羅町産業振興課）



▲しいたけ菌を打ち込んでいる様子

薪ストーブ体験

■参加人数：多数

＜プログラム状況＞

薪ストーブの体験会を行いました。環境にやさしいと言われる薪ストーブを立ち寄って見られる方もいらっしゃいました。

記録者：杉原千鈴（世羅町産業振興課）



▲薪ストーブの体験会の様子

薪づくり体験

■参加人数：28人

＜プログラム状況＞

薪割り体験は手動薪割り機を使って行いました。参加者は、初めて薪割り機を使ってとても楽しそうに薪割りを行っていました。

記録者：杉原千鈴（世羅町産業振興課）



▲薪割り機を使つての薪割り体験の様子

丸太であそぼう

■参加人数：34人

＜プログラム状況＞

当日イベントでは、予定を変更してキーホルダー作り体験のみ行いました。子供たちはイラストを描いたり、色を塗ったりと楽しんでいました。

記録者：杉原千鈴（世羅町産業振興課）



▲作成したキーホルダー

山の日マルシェ 脱温暖化プロジェクトせら

■参加人数：多数

＜プログラム状況＞

様々な方が出店し、世羅の木を使った工芸品や、野菜、花などを販売しました。足を止めてみている方がたくさんおられ、山の日イベントの集客につながりました。

もみ殻燐炭、竹パウダーの配布や、竹パウダーの作成の実演など、脱温暖化プロジェクトせらの取組を紹介しました。

記録者：杉原千鈴（世羅町産業振興課）



▲山の日マルシェと脱温暖化プロジェクトせら様子

ネイチャーゲーム

■参加人数：15人

＜プログラム状況＞

ネイチャーゲームの講師をお呼びして、自然と触れ合えるゲームをおこないました。様々なヒントをもらいながら、動物の名前を当てる「ノーズ」や、実際に公園内を歩きながら、生き物の痕跡を探すビンゴゲームなど、親子で楽しみながら自然と触れ合っていました。

記録者：杉原千鈴（世羅町産業振興課）



▲ネイチャーゲームの様子

里山の自然を観察しよう

■参加人数：70人

＜プログラム状況＞

せら夢公園の自然観察園で自然の生物の観察会を行いました。プログラムを第1部・第2部と分けて行い、自然観察園の各ポイントで講師の方から説明があり、カメラを片手に多くの参加者にせら高原の自然に親しんでいただくことができました。

記録者：杉原千鈴（世羅町産業振興課）



▲自然観察園で観察している様子

⑩神石高原町会場 神石高原ティアガルテン

全体

■参加人数：33人

＜プログラム状況＞

Re グリーン仙養は間伐跡地にどんぐりの木を植えようというイベントでした。

参加者は町内の青年会や町内外のお子様連れの家族が参加されました。植樹はコナラが80本、アベマキ・クヌギが各80本、その他18本、計258本の植樹を行いました。子供連れの家族は子どもが大きくなるころに、また見に来たいねと話をされていました。植樹は午前中に終わり、お昼はみんなでカレーを食べ和気あいあいとした雰囲気の中、イベントを終えることが出来ました。これからは下草刈りをしながら木の成長を見守っていきます。

記録者：惣道久敬（一社）神石高原町観光協会



▲参加記念の寄せ書き



▲開会式・作業説明の様子



▲どんぐりの植林をしている様子



▲寄せ書きをしている様子



▲参加者全員で集合写真

ようよう坂町ウォーキング

■参加人数：16人

＜プログラム状況＞

竹林や草花、木の実など、たくさんの自然に触れながら、水尻ベイサイド遊歩道にある展望台を目指してウォーキングを楽しみました。

参加者は、穏やかな瀬戸内海の風景に心が癒されていました。

記録者：縫部未来（坂町総務部企画財政課）



▲受付の様子



▲竹林ルートを散策



▲瀬戸内海を一望できる展望台

「モルック」をしよう！

■参加人数：16人

＜プログラム状況＞

砂浜で、木製のピンに木の棒を投げ合い、倒れたピンの点数を競うスポーツ「モルック体験」を行いました。子どもから高齢者まで16人の方が参加し、木のスポーツを楽しみました。

記録者：縫部未来（坂町総務部企画財政課）



▲フィンランドで開発された「モルック」体験



▲木製のピン「スキttl」



▲「モルック」体験をして交流する参加者

全体

■参加人数：800人

＜プログラム状況＞

当日準備は8時過ぎから、体験ブース担当者及び出店ブースの出店者が三々五々集まり最終の準備及び確認を行いました。9時過ぎには駐車場に車が来始め、開始を待ちわびる来場者もいました。

開会時刻の10時になると、司会の挨拶と実行委員会副委員長の開会挨拶が行われ、開会が宣言されました。毎年人気の体験ブースである木製マガジンラック作製体験では、早々に予約枠が埋まっていました。今回は体験ブースを屋内に設けた手すき和紙体験や手描き鯉のぼり作り教室は、開始時点では比較的落ち着いていました。また、今回のイベントの目玉であるチェーンソーカービング実演では、世界的に有名なチェーンソーアーティストが、大きな杉の丸太から市のマスコット等を制作し、会場を訪れた多くの人が見入っていました。

飲食店の出店ブースでは、大竹市の地元団体や企業、学校の参加があり、地元の食材を用いた焼きそば、うどん、魚介料理、焼き菓子、大竹市の郷土料理であるもぶりめし等を買求める多くの来場者でにぎわいました。

駐車場は、第一、第二及び臨時駐車場の3か所を確保しました。このうち、第一、第二駐車場は、ほぼ満車の状態になりました。会場の休憩スペースには、新型コロナウイルス感染症対策として除菌ウェットティッシュを設置し、会場には看護師に常駐してもらいました。出店者や来場者の中で、本イベントに関係した大きな怪我等は発生しませんでした。

昼過ぎには来客が落ち着き、休憩スペースでゆったりと過ごす来場者が増えました。途中雨が降り、テントの下に避難する来場者がいましたが、幸いにも一時的な降雨にとどまりました。昨年度より2週間遅い日程で開催をしたため、非常に蒸し暑い気候でしたが、熱中症の症状を訴える方もいませんでした。閉会時刻の15時になると、閉会宣言がなされ、無事、本イベントを終了することができました。

記録者：西山尚徳（大竹市総務部産業振興課）

三倉岳登山

■参加人数：29人

＜プログラム状況＞

別会場の三倉岳駐車場に集合し、準備体操の後登山を行いました。2班に分かれて難易度の異なる2つのコースから登山し、頂上で昼食をとった後、下山しました。途中、登山マナーの説明やゴミ拾いを行いながら登山を行いました。

担当グループ：大竹山の会

木製マガジンラック作成体験

■参加人数：42人

＜プログラム状況＞

木製のマガジンラックを参加者に組み立ててもらうことで、木の温もりを感じてもらいました。ボランティアスタッフのサポートを受けながら、それぞれがマガジンラックを作製していました。用意をしていたマガジンラックは、早い段階で品切れとなりました。

担当グループ：(株)小城六右衛門商店



▲マガジンラックを作成する様子

木工クラフト作成体験

■参加人数：83人

＜プログラム状況＞

木切れ、枝、色付け道具や接着剤等を用いて自分だけの作品を製作しました。

担当グループ：西日本造園、大竹市産業振興課



▲自分だけの作品を作成している様子

手すき和紙体験

■参加人数：66人

＜プログラム状況＞

大竹市の伝統工芸である手すき和紙の作成を体験してもらい、大竹市の伝統工芸を知ってもらう良い機会となりました。

担当グループ：おおたけ手すき和紙保存会



▲手すき和紙体験をしている子どもたち

薪割り体験

■参加人数：28人

＜プログラム状況＞

参加者に薪割り機を用いて、薪用に用意した木を割る体験を行ってもらいました。束にした薪は希望者に持ち帰ってもらいました。近年のキャンプ、焚き火人気もあり、多くの人が薪の束を持ち帰っていました。

担当グループ：西日本造園、大竹市産業振興課



▲指導を受けながら薪割り体験する様子

チェーンソーカービング実演

■参加人数：66人

＜プログラム状況＞

山口県出身で、世界的なチェーンソーアーティストの林隆雄氏による実演が午前と午後の2回実施され、一本の丸太から作品が出来上がっていく様子を多くの人が見て楽しみました。出来上がった作品の一部は、マロンの里で展示されることとなりました。

担当グループ：佐伯森林組合



▲チェーンソーアートの実演

木のおもちゃコーナー

■参加人数：50人

＜プログラム状況＞

室内の一角に広島県木材組合連合会からお借りした木のおもちゃを置き、木の温もりに触れてもらうコーナーを設けました。積み木、輪投げ、知育玩具等の様々なおもちゃを用意し、家族連れで楽しんでいる姿が見られました。

担当グループ：ひろしま「山の日」県民の集い
大竹市実行委員会



ボルダリング体験

■参加人数：89人

＜プログラム状況＞

参加者は、木製の壁に設けられた突起を掴んでてっぺんまで登るボルダリング体験を行いました。下にはマットを敷き、複数名で見守る等、安全に十分配慮をした形で行われました。

担当グループ：大竹岩国地区ボルダリング協会



▲ボルダリング体験の様子



▲会場の様子

⑬安芸太田町会場 深入山グリーンシャワー

全体

■参加人数：1,400人

＜プログラム状況＞

10月13日に、深入山グリーンシャワーにて、ひろしま「山の日」県民の集い～森カフェ in あきおおた～を開催しました。当日は、天候にも恵まれ、町内外から1,400名の来場者がありました。体験の参加者からは、「自然を満喫できた。」「木工教室が楽しかった。」「神楽の迫力が凄かった。」などの声も聞かれ、充実した時間を過ごしてもらえました。

体験コーナーでは、森林セラピー体験、森林セラピーヨガを活用した体験メニューに加え、木工教室、バードコールづくりを行いました。

筒賀小学校 みどりの少年団には、山の日宣言および町木もみじの植樹をしていただきました。

ステージでは、森のコンサートを行い、安芸太田町井仁地区の棚田カフェ：イニモニマニモで開講しているオカリナ教室の皆様による演奏と広島アルプホルンクラブによる演奏や楽器の体験を行いました。アルプホルンの音色は、まるでアルプスの高原にいるような気持ちになり、アルプスの音色を聴ける機会、貴重な体験となりました。

神楽の上演は、安芸太田町松原神楽団による八岐大蛇を披露して頂き迫力のある舞を見ることが出来ました。

同時開催のあきおおたもみじウォークへ参加された方やたくさんのお客様にご来場いただき、森林の癒し効果を存分に感じられていた様子でした。

記録者：藤井将和（安芸太田町産業観光課）



▲開会式の様子



▲緑の少年団(筒賀)小学校児童による「山の日」宣言



▲緑の少年団(筒賀)小学校児童によるもみじの植樹



▲森のコンサートの様子



▲森林セラピーヨガの様子
参加者：30人



▲木工教室の様子
参加者：60人



▲森林セラピー体験
参加者：76人



▲バードコール作り
参加者：56人



▲ハンモック体験



▲会場の様子

3. 実行委員

実行委員会（全体）

■アドバイザー

城納 一昭 元・広島県副知事
渡邊 園子 広島大学準教授
伊藤 利彦 愛する熱帯多雨林のために再生紙で名刺を作る会 幹事 元・広島市収入役
鶴田 昌史 (公社)広島県みどり推進機構 事務局長
岡島 鉄也 中国新聞社 代表取締役社長

■会長

前垣 壽男 西条・山と水の環境機構 理事長

■副会長

内海 康仁 光和物産株式会社 代表取締役会長
櫻井 充弘 ひろしま人と樹の会 事務局長
瀬川 千代子 エコロジー研究会 事務局長
山田 雅昭 (一社)広島県山岳・スポーツライミング連盟会長
箕田 英紀 三次市酒屋地区自治連合会会長、エコパークの森づくり副実行委員長

■委員

赤木 茂 光和物産(株) 取締役専務執行役員
秋山 浩三 広島県シェアリングネイチャー協会 事務局長
斎 陽 (公社)日本山岳会広島支部 支部長
井上 年光 阿品の森サポータークラブ 会長
上野 吉雄 NPO法人西中国山地自然史研究会理事長
小川 俊章 中国木材株式会社 総務課長
河野 弥生 NPO法人西中国山地自然史研究会
志々田 学 (公財)オイスカ広島県支部 事務局長
柴田 壮太郎 エコロジー研究会ひろしま
下手 義樹 (株)中国新聞企画サービス 次長
菅原 基晴 中央森林公園協会常務理事 兼事務局長
仙田 信吾 (株)サンフレッチェ広島 代表取締役社長
副島 靖夫 ひろしま遊学の森(広島市森林公園) 園長
田端 秀秋 (一財)もみのき森林公園協会 理事長
中嶋 剛二 広島県森林インストラクター連絡協議会
野本 利夫 NPO 法人ゆあーず「食」未来研究所 理事長
林 高正 板橋さとやま俱樂部 理事長
福永 やす子 (一社)広島県山岳・スポーツライミング連盟
細川 正紀 阿品の森サポータークラブ 事務局長
吉田 幸 株式会社中国放送 総務局広報部長
宮岡 泰久 サポート・トレッキング・グループ 会長
渡部 英美 (株)中国新聞企画サービス 課長

(五十音順)

■監事

梅田 斉 フォレストアドベンチャー 顧問

■事務局（委員兼任:事務局長）

山本 祐二 NPO 法人ひろしま NPO センター 常務理事

各会場実行委員会

□東広島市会場実行委員会

■実行委員長

島 靖英 西条・山と水の環境機構 運営委員

■副委員長

浅野 敏久 広島大学大学院人間社会科学研究科教授
呉・東広島シェアリングネイチャーの会

■運営委員長

水友 裕樹 賀茂地方森林組合

■事務局長

本永 修一朗 西条・山と水の環境機構 事務局

□廿日市市会場実行委員会

■実行委員長

大村康朗 県立もみのき森林公園 園長

■副委員長

梅田 斉 フォレストアドベンチャー 顧問

■事務局長

金升 伸矢 県立もみのき森林公園 副園長

□広島市会場ひろしま遊学の森(広島市森林公園)会場 実行委員会

■実行委員長

副島 靖夫 広島市森林公園 園長

■副委員長

田井 弘司 広島市森林公園 副園長

■運営委員長

桑田 莊一郎 広島市森林公園

■事務局長

上田 義文 広島市森林公園

□広島市会場ひろしま遊学の森(広島県緑化センター)会場 実行委員会

■実行委員長

正本 大 みずえ緑地(株) 代表取締役社長

■副委員長・事務局長

山根 道廣 広島県緑化センター 所長

■運営委員長

行森 章 広島県緑化センター

■運営副委員長

神川 勇人 広島県緑化センター

■事務局長

行森 章 広島県緑化センター

□三原市会場実行委員会

■実行委員長

西中 弘 NPO 法人もみじの郷 理事長

■副委員長

植村 正宏 三原市経済部長

■事務局長

西中 弘 NPO 法人もみじの郷 理事長

□庄原市会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□福山市会場実行委員会

■実行委員長

内海 康仁 光和物産(株) 代表取締役会長兼社長

■副委員長

赤木 茂 光和物産(株) 取締役専務執行役員

■事務局

繁田 健司 光和物産(株)

□三次市会場実行委員会

■実行委員長

平岡 誠 吉舎町自治振興会 会長

■事務局長

松本 隆志 三次市産業環境部農政課 課長

□呉市会場実行委員会

■実行委員長

堀川 保彦 中国木材株式会社 代表取締役 社長

■運営委員長

宮岡 泰久 サポート・トレッキング・グループ会長

■副運営委員長

遠藤勇人 三菱日立パワーシステムズ呉工場
エコークラブ

■事務局長

小川 俊章 中国木材株式会社 人事課 課長

□世羅町会場実行委員会

■実行委員長

山口 勝博 世羅郡森林組合 代表理事組合長

■副委員長

山本 稔 NPO 法人広島・せらマルベリークラブ
代表理事

■事務局長

垣内 賢司 世羅町産業振興課 課長

□大崎上島町会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□江田島市会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□竹原市会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□府中市会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□神石高原町会場実行委員会

■実行委員長

河相 道夫 (一社)神石高原町観光協会代表理事

■事務局長

富山 公明 (一社)神石高原町観光協会専務理事

□坂町会場実行委員会

■事務局

山本 保 坂町総務部企画財政課 課長

□尾道市会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□安芸高田市会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□大竹市会場実行委員会

■実行委員長

田室 浩一郎

■副委員長

小城 和之

■事務局長

三浦 暁雄 大竹市総務部 産業振興課 課長

□安芸太田町実行委員会

■実行委員長

井居 勇次 太田川森林組合 代表理事組合長

■副委員長

大倉 啓二 ヘルスツーリズム推進協議会専門委員

■監事

寶珠 真一 (一社)地域商社あきおた 事業本部長

■事務局長

菅田 裕二 安芸太田町産業観光課 課長

※以上、2024年6月2日時点での委員及び所属等を記載しております。

たくさんの方々に協力していただき行事を行なうことができました。心より感謝申し上げます。

4. ひろしま「山の日」県民の集いの歩み

1. 「山の日」のきっかけ

森林ボランティアに関わる人たちが全国から集まり、第7回森林と市民を結ぶ全国の集い（会期：2002年2月9日～11日 開催場所：広島県東広島市とその周辺 主催：第7回森林と市民を結ぶ県民の集い実行委員会他 総参加者：2,294人）が開催されました。その初日のシンポジウムにおいて、パネリストの1人から「山の日」をつくろうとの提案がされました。

提案を受け、分科会等での議論等を経て、集いの締めくくりに、私たちからのメッセージとし「6月の第一日曜日を山の日として、その日は山に関わろう」というメッセージを発信しました。

2. ひろしま「山の日」県民の集いの積み重ね

山の大切さをできるだけ多くの人たちに知っていただきたい。そのきっかけづくりとしてひろしま「山の日」県民の集いを広島県内各地の会場で開催しています。第1回～4回までは、広島県内1ヶ所の会場で開催していました。第5回以降、・メイン会場と・サテライト会場方式として県内数ヶ所で同時開催、コロナ禍前の第18回までは、あわせて1万3千人超が参加する行事になっています。

回数	日時	場所	参加者 (人)	主催
1	2002年6月1日(土)・ 6月2日(日)	東広島市	1,500	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会
2	2003年6月7日(土)・ 6月8日(日)	廿日市市	3,000	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会
3	2004年6月5日(土)・ 6月6日(日)	広島市	2,400	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会
4	2005年10月15日(土)・ 10月16日(日)	三原市	5,000	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、平成 17年度広島県植樹祭実 行委員会
5	2006年10月22日(日) ※全国育樹祭と連携	○メイン会場：庄原市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市	11,700	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社
6	2007年10月20日(土)・ 10月21日(日)	○メイン会場：福山市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、庄原市	10,110	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社

7	2008 年 10 月 18 日 (土)・ 10 月 19 日 (日)	○メイン会場：三次市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市、三原市、 庄原市、福山市	10,000	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社
8	2009 年 6 月 6 日 (土)・ 6 月 7 日 (日)	○メイン会場：呉市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市 (2)、三原市、 庄原市、福山市、三次市	7,000	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
9	2010 年 6 月 5 日 (土)・ 6 月 6 日 (日)	○メイン会場：北広島町 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市 (2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市	8,600	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
10	2011 年 6 月 4 日 (土)・ 6 月 5 日 (日) ※第 10 回記念行事	広島市 (記念講演会) 東広島市、廿日市市、広島市 (2)、三原市、庄原市、 福山市、三次市、呉市、 北広島町	11,600	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
11	2012 年 6 月 2 日 (土)・ 6 月 3 日 (日)	○メイン会場：尾道市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市 (2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市、北広島町	7,000 ※朝、雨	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
12	2013 年 6 月 1 日 (土)・ 6 月 2 日 (日)	○メイン会場：安芸高田市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市 (2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市、北広島町、 尾道市	3,200 ※終日雨天	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
13	2014 年 5 月 31 日 (土)・ 6 月 1 日 (日)	○メイン会場：安芸太田町 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市 (2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市、北広島町、 尾道市、安芸高田	9,000	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送

14	2015年6月6日(土)・ 6月7日(日)	○メイン会場：大竹市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市(2)、呉市、北広島町、 尾道市、安芸高田市、 安芸太田町	10,540	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
15	2016年6月4日(土)・ 6月5日(日)	○メイン会場：世羅町 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市、北広島町、 尾道市、安芸高田市、 安芸太田町、大竹市	7,120	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
16	2017年6月3日(土)・ 6月4日(日)	○メイン会場：大崎上島町 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、福山市、三次市、 呉市、北広島町、尾道市、 安芸高田市、安芸太田町、 大竹市、世羅町	10,860	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
17	2018年6月3日(日)	○メイン会場：江田島市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、三原市、 庄原市、福山市、三次市、呉市、 北広島町、安芸高田市、 安芸太田町、大竹市、世羅町、 大崎上島町	11,710	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
18	2019年6月2日(日)	○メイン会場：竹原市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(注)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市、北広島町、 安芸太田町、大竹市、世羅町、 大崎上島町、江田島市 (注)2018年7月豪雨災害の為、 広島市森林公園会場は未開催	13,640	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送

19	2021年8月8日(日・祝日山の日)	○メイン会場：府中市 ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市(2)、福山市、北広島町、竹原市	1,230	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社、中国放送
20	2022年6月4日(土)・6月5日(日)・6月18日(土)・6月26日(日)	○メイン会場：神石高原町 ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市(2)、庄原市、福山市、三次市、北広島町、大竹市、世羅町、府中市、	2,110	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社、中国放送
21	2023年6月4日(日)	○メイン会場：安芸郡4町 (メイン会場：坂町、サブ会場：府中町、海田町、熊野町) ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市(2)、三原市、福山市、三次市、呉市、北広島町、大竹市、世羅町、神石高原町	7,510	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社、中国放送
22	2024年6月2日(日) 6/16(大竹市会場) 10/13(安芸太田町会場)	東広島市(総合開会式) 廿日市市、広島市(2)、三原市、福山市、三次市、呉市、世羅町、神石高原町、坂町、大竹市、安芸太田町	4,360	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社

※但し、参加者は10人台で計数しています。

第 22 回ひろしま「山の日」県民の集いの記録

- 発行日 2024 年 11 月 1 日
- 発行・編集 ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
- 監修 渡邊 園子（広島大学 准教授）
- 事務局 〒730-0031 広島市中区紙屋町 1 丁目 6－1
紙屋町ガレリア 303 号室
- TEL:082-258-1348 FAX:082-258-1349
- e-mail:info@yamanohi.com
-



- 山の日ロゴ: 山と人との調和をモチーフにデザイン開発。
基本カラーはエコグリーン。
デザインは木原実行さん。



「緑の募金」助成事業

（この行事は、「ひろしまの森づくり県民税」を活用して開催しています。）

ひろしまの森づくりキャラクター
モーリー

